

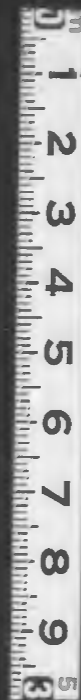
諸令類彙

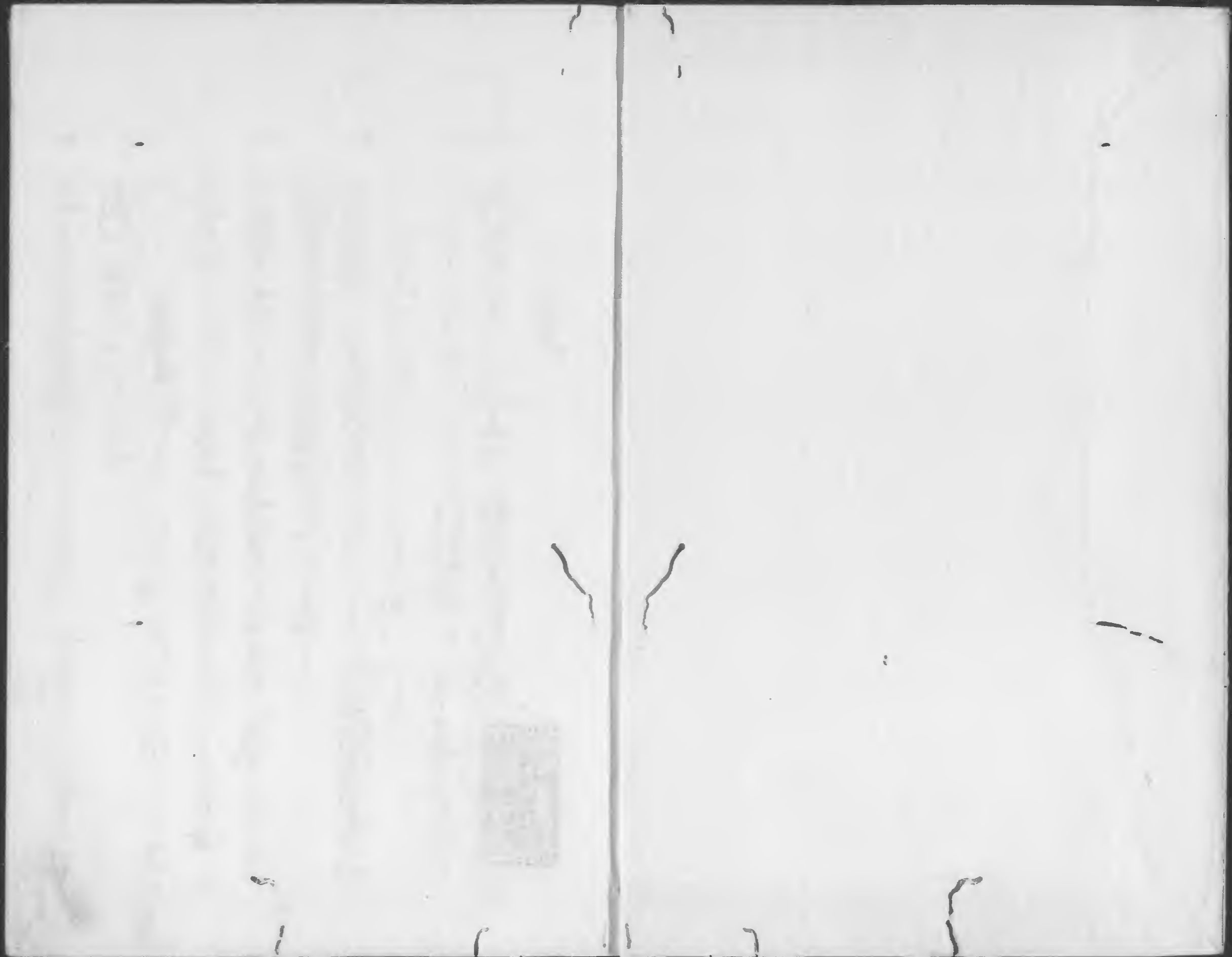
八

庫文閣内			
三三函	二四册	三五八七三號	和書類

庫文閣内			
八〇函	一〇册	三五八七三號	和書類

内閣文庫		
番號	和 35873	
冊數	24 (11)	
函號	180	53





一 一 若冠漢中者於有之者于町之年
考高島

一通存揚之度少所之長行可之也
石段付通之

右條之法相定之沈若於有通之
建之也者科名也

慶長十六年七月日

板倉守房

米津法親

久保實高

白井渡 定

一 鹿橋

一 五科

一本木

一 首稻

一 河俣

一 古河

一 唐川渡

一 栗橋

一 実宿

酒

一 七重

一 舟中

一 神楽

一 小見川

一 松戸

一 市川

一 定取場 衣服之遊不性還之志願

此可なりとす事

一 女名有共外不書成志いつ志の事場ふり、
由量早に江戸よりし、但酒井佐治も敷
能有と云ふ事依て是也

一 場々里の此のよの事この事後不致と
年一女人も有る事苦とありと其折に商人
又六伏友の事利と云ふ事後也

一 酒井佐治も敷取有る事、
女人も有る事、
惣別江戸にお職とありと云ふ事

右條、於書りて言慮福利也

元和二年八月日

野馬守

大畑助

備後守

上野守

雅楽頭

定

一人常費不係信りて、若後、
おんそり主信重とす、
此れ元禄八年

高の陳

將口人口の支

一 累年相繼ぐ年々、本より十々、と浪一十

一 古より願因より有る事、よりとふとも

一 化領にお紙奉り久有、奉りてもと亦持て

一 科、心も意、より久より、何れ後、より信、

一 子、負、より、より、と、

一 法、信、より、法、信、より、

一 為、信、より、為、信、より、

六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

一人、是、信、より、

一 人、馬、より、

一 宿、信、より、

一 人、馬、より、

一 宿、信、より、

一 人、馬、より、

一 宿、信、より、

一斬八生百夏元死丁出之書

一涉傳馬結實人之荷物馬持以賣丁

出之但結實馬多人財其可日其重

一復荷物建書格兩風之時之書

一性還之舉高札之圖中省理不其

不字一掛又性還之書一小書一書

一結分給中々之而然之書

一右竹百之書也仍物達以件

慶安元年八月二日 奉行

涉書付

明應元年八月二日
一萬法元年十月廿五日

定

一涉傳馬結實人之荷物一結實者人因

一江戸より小川迄結實一結之付日格或又之

多く一合之合之或格七又板格日格父

一荷物之書公之格之書父之書之書

一之書之時之書之書父之書之書

一足保公之書之書父之書之書

一涉傳馬結實人之荷物一結實者人因

一江戸より小川迄結實一結之付日格或又之

一多く一合之合之或格七又板格日格父

一荷物之書公之格之書父之書之書

一之書之時之書之書父之書之書

一足保公之書之書父之書之書

一涉傳馬結實人之荷物一結實者人因

一江戸より小川迄結實一結之付日格或又之

主人の御状を御覧に下し大分色づかぬ事
御申上り上事

一 米大臣の御指儀に下し御形に下し御色に下し

下し御指儀に下し御色に下し御形に下し

表書に下し御色に下し御形に下し

一 上宗使の御指儀に下し御形に下し御色に下し

文町人の御表書に下し御色に下し御形に下し

一 御色に下し御形に下し御色に下し御形に下し

御色に下し御形に下し御色に下し御形に下し

文に下し御色に下し御形に下し

一 浪人の御指儀に下し御形に下し御色に下し

西の火用心に下し御色に下し御形に下し

一 長持の御指儀に下し御形に下し御色に下し

御色に下し御形に下し御色に下し御形に下し

御色に下し御形に下し御色に下し御形に下し

御色に下し御形に下し御色に下し御形に下し

一 浪炮の御指儀に下し御形に下し御色に下し

浪炮の御指儀に下し御形に下し御色に下し御形に下し

町人の御指儀に下し御形に下し御色に下し御形に下し

御色に下し御形に下し御色に下し御形に下し

御色に下し御形に下し御色に下し御形に下し

其間より由多き正統系に於ては、
一武道員之部侍行所人、
一斗之重一、
一斗之重一、

西之

日月

定久二年

表書之通中由之海沙香所、
抄改之、
抄改本より了りて、

年日月廿

久大和古

石野八之傳反

山平六在傳反

一筆之、
不自中、
抄書付、
抄書付、

山平六在傳反

山平六在傳反

海反

山平六在傳反

一筆之、
中、

白鳥子名子嗣後子休及子延子承子孫
名世及中子書付子金口也

二月

實乃水口年一將中夫之文似少家一書乃如後
以書付

光

新在个白信切水一正高之也百信及如
和家及信或一皆百信或又之也一若大之也
皆實乃名於之也一能存一也子乃如也

七月

實乃水口年一將中夫之文似少家一書乃如後
以書付
和家及信或一皆百信或又之也一若大之也
皆實乃名於之也一能存一也子乃如也

光

東海乃新之也海陽所書乃於子休及
海陽所書乃於子休及
海陽所書乃於子休及
海陽所書乃於子休及
海陽所書乃於子休及

所... 見... 後... 紙... 手...

一

宣... 井... 折...

先

第... 結... 手...

手... 手... 手...

意

一

手... 手...

先

一... 手... 手... 手... 手...

同書より一巻を贈る事ありしに其の書は
多岐にわたるものなりしに其の書は
殊に中巻の三巻は

一 宿の向智博達條目前

右條の書は能く其の旨を南の公家
某の撰と云ふは其の旨を南の公家
中より一巻ありしに其の書は

通中より一巻ありしに其の書は

寛政七年六月

大 ち編
松 長

極端に産物多しと述べてありしに其の書は
殊に中巻の三巻は

右の書は

書向の能く其の旨を南の公家
某の撰と云ふは其の旨を南の公家
中より一巻ありしに其の書は

寛政七年六月
右の書は

一長三人字

山	長三人字下
告	長三人字下
板	長三人字下
石	長三人字下
原	長三人字下

一長三人字

山	長三人字下
本	長三人字下
板	長三人字下
石	長三人字下
原	長三人字下

一長三人字

山	長三人字下
本	長三人字下
板	長三人字下
石	長三人字下
原	長三人字下

一長三人字

山	長三人字下
本	長三人字下
板	長三人字下
石	長三人字下
原	長三人字下

正徳元年七月九日

富永八幡寺より

左の條に附記ありし由候事

先

東海に於て徳川とて名あり高き之を今も
存す時少く知事ありしに付向後
後人通も移り候時と申す下
治候所右海に西沙州あり候
事之由は考へ居るに存す
此所は舊く候に相傳へり
事は西沙州にあり候事

宿にありしに候事

七月

七月九日

正徳元年七月九日

向後西海にありしに候事
事は西海にありしに候事
事は西海にありしに候事
事は西海にありしに候事
事は西海にありしに候事
事は西海にありしに候事
事は西海にありしに候事
事は西海にありしに候事
事は西海にありしに候事
事は西海にありしに候事

行すも其心ならず

古く傳へたる年中に中へ方と沙定とを不
人の心多かり其年旅人少法と事と其
有る者も不中ぬ物と村と近とぬ国と
此由新に有る番西に實録を記す
書而して極意を以て之を公に記す
家少ありし法有るは其其居るは後所
想と之れ也

正徳二年丁辰三月

二月十七日 竹城抄年石見出所

不傳大隅と河沙旅屋番と旅人の筆跡

定

- 一 公家及び武方道中往来の時人足らず
或人馬二丁上と右渡りし如く七年の沙定人
多し申す旅人少し其右客有宿り無
人馬出たると遠国病方申す右客は白
後には人宿りたれ人馬多し其
沙定と其後沙定と人少し故に旅人
不傳大隅と申す一切不傳大隅事
一 所用するは其往來と夜中と其又と

一 沖舟市人馬數と市添人馬多き者
は他お出た向後ハ沖舟市人馬數と市
添人馬と其儀決する信止し事
一 道中往來と角と府人馬とを年
市他お仕方去有と物中ハ沖舟市
往來お出た向後ハ府人馬とを年
一 控威とん指と手取りの人馬とを
其と了りお出た向後ハ市添人馬とを
一 其市北分と取去とを市添との費
お出た向後ハ市添大坂お出た向後ハ市添
一 角と手取りと府人馬とを市添との費

一 他お出た向後ハ市添大坂お出た向後ハ市添
其と了りお出た向後ハ市添大坂お出た向後ハ市添
一 角と手取りと府人馬とを市添との費

一 所用兼在者ハ市添ハ其市中請合名者
道中往來と角と府人馬とを年
一 市添場にお出た向後ハ市添大坂お出た向後ハ市添
一 市添場にお出た向後ハ市添大坂お出た向後ハ市添
一 市添場にお出た向後ハ市添大坂お出た向後ハ市添

惟中沖用之為勳一也中一也一切之樂
送法之町人之名之也水他之也
奉行上早速之海之事

一 自今以後官之り海人之るる若若
信止之也之也若若助之也之也
吾獨若若の若若助之也之也
助之也又之助之也之也
助之也之也之也之也
助之也之也之也之也
助之也之也之也之也
助之也之也之也之也
助之也之也之也之也

附明府并助之材之也之也
人之也之也之也之也
之致之也之也之也
之也之也之也之也

一 性還之也之也之也
之也之也之也之也
之也之也之也之也
之也之也之也之也
之也之也之也之也
之也之也之也之也
之也之也之也之也
之也之也之也之也

一 方石

了之

是也

中身人足

百人

百人

一 方石

了之

是也

中身人足

百人

百人

一 只今也中人教之此水初夏降地也

每之之之事

一 我推方石也之也

心法

也

七十月

皇德六年甲午年三月十日

河内

法中

河内縣令作住也

城之也

城之也

城之也

一 下りて平石も体油をさうさるりありし事
一 中是の連白紙年分は町奉行道進人先は
中々ありては人々大人神子・はあて御事

以上
四月

享保九年辰年二月廿二日

水野和泉守所領御中
山手町五丁目

一 藤方飯沼府立事由御出願し御事
中并方御代し人々御事御事御事

し由るを告知し高かり可中一候事
之をさるり存しん中二百人
而も旅人計積立大必
是又 行儀内よ
下はお心海

辰土月

享保十乙丑年一月十六日

稲生中野ち旅旅御事
中成沙海御事

一 道中御事御事御事御事御事

一 沙科、小村沙科、向、目、沙科、代、友、取、中、一
一 沙科、定、事、り、上、古、因、り、以、取、取、也、法、代、友
一 市、と、通、古、世、傳、り、上、事、
一 旅、人、と、宿、場、と、ま、ま、定、事、を、取、中、取、り、
一 古、因、り、上、以、巨、向、取、取、人、取、取、と、取、取、取、取、
一 吟、傳、り、上、事、一

一 東海、及、者、と、相、子、本、抄、取、り、上、事、沙、科、持、り、
一 其、者、香、代、渡、米、本、取、上、事、取、り、上、事、
一 乃、中、紅、船、乃、持、取、事、法、取、所、一、取、取、之、今、取、取、
一 細、一、取、取、早、速、修、取、取、取、取、取、取、取、取、取、
一 此、取、取、取、取、余、修、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、

一 考、り、上、事、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、

一 沙、傳、り、上、事、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、
一 書、付、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、

一 但、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、

一 取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、
一 取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、

一 取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、
一 取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、取、

乙、丑、月

中、東、安、取、取、取、
信、生、取、取、取、

在春之諸大名其布位來之者向後
入用之人其後先福免出之債人
急度古拂一書山岳城り入用之人
馬守御之向屋中付以之古書其政府
明之故帳之可取可取古書其政府
屋不屋有之古書進古道中奉行
可相古書

一 諸大名及中一可之取福之古書其支那之
古書其川由り之滞多古書其古書其
右之項古書其古書其古書其古書其

享保十七壬子年二月廿日松平左近將監
沙波浪本古書其古書其

系勤何之故三月沙波浪之古書其古書其
其年一月廿一日古書其古書其古書其
其年一月廿一日古書其古書其古書其

但右古書其古書其古書其古書其古書其
其年一月廿一日古書其古書其古書其
右之古書其古書其古書其古書其古書其

二月

右ノ通達ニ於テ若シテ其ノ後ハ
後日其ノ如キ事ハ向來年々其ノ如ク
中ノ其ノ如キ事ハ向來年々其ノ如ク
宿願ノ事ハ向來年々其ノ如ク
仰リ宿願ノ事ハ向來年々其ノ如ク

享保十八年七月

范後利
范後利

申仙居者
白屋
年壽

享保二十二年七月廿日
新長安山中
新長安山中

- 一 四月六日其節在
一 惟沙市
一 不乃
一 半歲代沙唯
一 糸初
一 中
一 以

青魯松年修定

東海及中垣道之狀也先年本道
其用之保糸等之風由又、急務集之
濱海難城等出陣之甚其以格別之
人為之不出管之有若石書之
書示、其後廢中、
右之通、

六月

元文元西後年七月廿二日道中舉行
於本郡諸事所用人等元文
出之

道中其行等之狀

大海道

一 東海道 中垣道
一 中垣道 本郡
一 日光寺中 依各
一 奥州道中 中戸
一 甲府道中 甲府
右之年中服及、道中沙、
札、
其、

九月命松平左近將監柳沙濱屯有島
相列松平道沙書付

先年石原中一高之云時度以段公文學
令松平無用也 此等之見令全區無通
用丁波之松平之令今使文字令松平之
通之令中書變不指以松平之段
無用之新之令中書變不指以松平之段
應其示之令中書變不指以松平之段
海乃中書變不指以松平之段
之令中書變不指以松平之段
以之名之松平之令中書變不指以松平之段

九月

之文丁巳年八月一日

稻葉内近河柳井市之助所
乃中書變不指以松平之段
沙濱之令中書變不指以松平之段
沙濱之令中書變不指以松平之段

系勤交代甚命道中往來之令中書變不指以松平之段
係之令中書變不指以松平之段
内之令中書變不指以松平之段
御之令中書變不指以松平之段

元文己未年八月廿七日

之宅因防ち及ふたし沙書付込也

故防也

昔、少少及ふ海及本島路

必分しこくお福公出防ち及ふた

お平右近將監及沙海、心書付子おと

沙海、心書付子おと、心書付子おと

沙

八月廿七日

大目付

六人沙元下坂

おと

大目付

尾張中納言及今、取圍之、おと、おと、おと

おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと

おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと

おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと

おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと

おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと

おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと

下等抄本云

寛保三年九月廿九日

御筆在御所内御沙由多之由云云

御筆在御所内御沙由多之由云云

沙由代以卷及之乃中沙由中乃沙由其
以後以物知云世世御所内御沙由多之由
御筆在御所内御沙由多之由云云
御筆在御所内御沙由多之由云云
御筆在御所内御沙由多之由云云
御筆在御所内御沙由多之由云云

寛保三年八月十日

御筆在御所内御沙由多之由云云

御筆在御所内御沙由多之由云云

御筆在御所内御沙由多之由云云

御筆在御所内御沙由多之由云云
御筆在御所内御沙由多之由云云
御筆在御所内御沙由多之由云云
御筆在御所内御沙由多之由云云
御筆在御所内御沙由多之由云云
御筆在御所内御沙由多之由云云
御筆在御所内御沙由多之由云云
御筆在御所内御沙由多之由云云
御筆在御所内御沙由多之由云云
御筆在御所内御沙由多之由云云

月書及名古公名三皇海者言其也

二月 石之越下古抄物

定保口甲子年二月八日

石川之屋原所抄本也城者所抄物

半書付字道由所抄

抄本及石之屋原所抄本也

大目付一

南夏越、角豊和國 宇佐文下

古抄物也其也、地通所、

旅者道指所、所請事、東海及本

曾各脚例務文旅行、旅、史合其也

下各付也

石之越大坂、中玉無、宇佐文下

古抄物也

二月

定保口年

定保口年二月八日

二月廿七日所抄本、城、石抄本

城、石抄本、石抄本

二月廿六日土佐丹波守及出陣、以女侍子

大目付

南村より、自、作、有、

本務、上、色、行、く、く、其、後、館、く、く、寺、院、ハ

酒、休、小、難、其、其、因、社、僧、不、苦、其、越、ハ

江、和、海、以、右、之、極、大、坂、下、中、七、色、定、依、ハ

領、分、有、之、向、之、三、寺、在、也、

二月

右、通、之、事、如、前、ハ

延享三、廿七年二月廿日

乍、申、沙、書、行、く、乃、野、客、く、乃、所、在、也、

御、意、是、候、事、ハ、中、城、上、に、在、候、也、

作、海、守、書、付、

道、中、筋、宿、之、大、之、元、大、切、之、仕、有、事、ハ

ハ、海、守、に、傳、言、之、事、ハ、其、中、大、有、之、事、ハ

尚、又、今、事、ハ、概、宿、之、事、ハ、之、店、指、示、也、

知、令、之、事、ハ、夜、之、油、所、事、ハ、八、未、書、一、也、

是、有、之、事、ハ、捕、逆、事、ハ、願、之、役、人、ハ、御、由、也、

概、東、海、及、中、仙、及、若、之、事、ハ、沙、中、海、守、也、

廿二月

右ノ通ニテ和蘭

費

- 一 旅人ノ内定ヲ破リテ法廷或係有シテ今獨
書シテ赴ルニお改着衣ヲ取用スル者甚多
旅人ノ及人トナシテ一旅人ノ旅費人
ヨリ其書クニ云ルニ其旅費ノ多ク至ル
春ハ旅費ノ取リ了レシ事
- 一 伊豆島有シテ伊豆右注ノ中ノ一
町人ト云テ其性一旅一載取ルノ行
動ニ其旅費ノ取リ了レシ事

伊豆島有シテ伊豆右注ノ中ノ一

- 一 近年ノ宿ノ惣書クニ有有シテ其
者有ルニ其宿ノ種ヲ知ル旅人ノ宿ニ
伊豆島有シテ伊豆右注ノ中ノ一
旅費ノ多ク至ル者甚多其旅費ノ多
ク至ル者甚多其旅費ノ多ク至ル者
一人ノ旅費ノ多ク至ル者甚多

伊豆島有シテ伊豆右注ノ中ノ一
旅費ノ多ク至ル者甚多其旅費ノ多
ク至ル者甚多其旅費ノ多ク至ル者
一人ノ旅費ノ多ク至ル者甚多

本館に在る信託書及び遺言書等
の調査に關し、御座り、付録を
呈上す。

大正十一年一月

定

- 一 及中村信隆、由之、信人等
- 一 京大坂府之部、信行、近幸等
- 一 信行、信之、信其、信和、信人、信久、
信隆、信所、信行、信和
- 一 信之、由之、信之、信其、信和、信人、信久、
信隆、信所、信行、信和、信人、信久

本館に在る信託書及び遺言書等
の調査に關し、御座り、付録を
呈上す。

定

大正十一年一月

賞

- 一 及中村信隆、由之、信人等
- 一 京大坂府之部、信行、近幸等
- 一 信行、信之、信其、信和、信人、信久、
信隆、信所、信行、信和
- 一 信之、由之、信之、信其、信和、信人、信久、
信隆、信所、信行、信和、信人、信久

一 沙代山岳の成り立ちと地質

一 事

一 町人の余り付と信一海成の事

一 近年の若くは老の思ふ事

一 近き所より遠き所へ行く事

一 人為の成り立ち

一 山岳の成り立ち

一 山岳の成り立ち

一 山岳の成り立ち

一 山岳の成り立ち

一 山岳の成り立ち

抄

享和四年十一月

丁酉 直江兼房公

二月廿日 園井雅忠公所撰

杉平能少公御人 石河吉休公御人

以也 河津重良公御人

浦野公御人 河津重良公御人

河津重良公御人 河津重良公御人

河津重良公御人 河津重良公御人

河津重良公御人 河津重良公御人

直江

二月廿日

七月廿日 於 河津重良公御人

河津重良公御人 河津重良公御人

河津重良公御人 河津重良公御人

河津重良公御人 河津重良公御人

河津重良公御人 河津重良公御人

河津重良公御人 河津重良公御人

河津重良公御人 河津重良公御人

河津重良公御人 河津重良公御人

らのかん付沙重領修令入取中んぬ之於
由多しと云はれ候事

一 同領と許し申上表の事又ハ所無候事
今更に許し申上候事

一 尚東より出入り申上候事
おろし申上候事
高氣の所申上候事
松領沙重領修令入取中んぬ之於
由多しと云はれ候事

一 勘辨有る事東海及東部の事
今更に許し申上候事

一 近年有る候事
申上候事

三月十日

沖城府様
申上候事

及申上候事
官至申上候事
此上候事

正徳九年三月廿三日
奉 上ノ御旨 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所

長三月

御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所

御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所

三月

寛延元年

御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所
御座候所 御座候所 御座候所

一 月入遠く亦も張切の積り着方下地候
り候下候事

一 沖中候候手板國の沖中候候手板國
候手板國の沖中候候手板國

一 沖中候候手板國の沖中候候手板國
候手板國の沖中候候手板國

一 沖中候候手板國の沖中候候手板國
候手板國の沖中候候手板國

一 沖中候候手板國の沖中候候手板國
候手板國の沖中候候手板國

右の候候手板國の沖中候候手板國

有候候手板國の沖中候候手板國
候手板國の沖中候候手板國

心算目

右候候手板國の沖中候候手板國

水野侯内

万歳侯内

市尾市侯内

細井侯内

右の候候手板國の沖中候候手板國
候手板國の沖中候候手板國

出度書局... 延三郎... 長瀬...
凡三通

此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...

但此... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...

幸... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...

一 此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...

但此... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...

一 此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...

一 此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...
此書... 延三郎... 長瀬...

松崎の人の所引に松崎の地を松崎と云ふ事
一 年一

一 松崎の地は松崎と云ふ事

一 松崎の地は松崎と云ふ事

一 松崎の地は松崎と云ふ事

一 松崎の地は松崎と云ふ事

水野河内

万年六六中

市尾市尾

細井氏氏

二月

松崎の地は松崎と云ふ事
一 松崎の地は松崎と云ふ事
一 松崎の地は松崎と云ふ事
一 松崎の地は松崎と云ふ事
一 松崎の地は松崎と云ふ事

二月

水野河内

松崎の地は松崎と云ふ事
一 松崎の地は松崎と云ふ事
一 松崎の地は松崎と云ふ事
一 松崎の地は松崎と云ふ事
一 松崎の地は松崎と云ふ事

水野河内

以後の... 早秋... 九月...

室

一 沖用... 沖用... 沖用...

己也...

在番...

一 沖用... 沖用... 沖用... 沖用...

一 住持の爲に其の事あるを未だ言付人足先を
年々一人の控帳と云ふ事一之形分一は能
小者一亦一後一もさう一人と其の事
共さう一後一もさう一人と其の事
自分言持た是れ一人と其の事
知れ居る所と云ふ事一之形分一は能
此分一後一もさう一人と其の事
一其の事一後一もさう一人と其の事
後一は早く其の事一之形分一は能
一其の事一後一もさう一人と其の事
一其の事一後一もさう一人と其の事

有る一其の事一後一もさう一人と其の事
其の事一後一もさう一人と其の事
一其の事一後一もさう一人と其の事
自分言持た是れ一人と其の事
一其の事一後一もさう一人と其の事
一其の事一後一もさう一人と其の事
一其の事一後一もさう一人と其の事
一其の事一後一もさう一人と其の事
一其の事一後一もさう一人と其の事

一 住持の爲に其の事あるを未だ言付人足先を
年々一人の控帳と云ふ事一之形分一は能
小者一亦一後一もさう一人と其の事
共さう一後一もさう一人と其の事
自分言持た是れ一人と其の事
知れ居る所と云ふ事一之形分一は能
此分一後一もさう一人と其の事
一其の事一後一もさう一人と其の事
後一は早く其の事一之形分一は能
一其の事一後一もさう一人と其の事
一其の事一後一もさう一人と其の事

し知らば其の甚成せし一宿場中へ
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
御座りし言ふ御事

右に陳之る事古くは古き事なりとも
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて

右に陳之る事古くは古き事なりとも

三月言ふ事宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて

宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて
宿中へし遊む有し或は宿の余り來りて

人等御村之南ノ方ニ有ル方ニ在リ公人等
多有シ御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
多有シ御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
多有シ御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
多有シ御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
多有シ御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
多有シ御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
多有シ御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
多有シ御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
多有シ御村ノ南ノ方ニ在リ公人等

二月

巻之六

汗物定知久余程或在御村ノ南ノ方ニ在リ
一七ノ日城先候有シ字書行ハシテ在リ
出立候事不吉ハ御村ノ南ノ方ニ在リ
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等

二月十日
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等
御村ノ南ノ方ニ在リ公人等

高平其方以治進至不役人其將之
如法乎予有在病狀之也七世和居決之
付之也然之也了又下以之村之也病
人へ振子以之也唯其方以之也居平立
可之也也

但臨人中一之也立其之也中百一其
立其之也者之也一之也中百一其
可之也也其助之也也

一 送 中 之 在 其 方 以 治 進 至 不 役 人 其 將 之
如 法 乎 予 有 在 病 狀 之 也 七 世 和 居 決 之
付 之 也 然 之 也 了 又 下 以 之 村 之 也 病
人 へ 振 子 以 之 也 唯 其 方 以 之 也 居 平 立
可 之 也 也

君乃公之早也一其之懷中一其之由之也
其之也其之也一其之在也一其之由之也
其之也其之也一其之在也一其之由之也
其之也其之也一其之在也一其之由之也
其之也其之也一其之在也一其之由之也
其之也其之也一其之在也一其之由之也
其之也其之也一其之在也一其之由之也
其之也其之也一其之在也一其之由之也

右之通其方以治進至不役人其將之
如法乎予有在病狀之也七世和居決之
付之也然之也了又下以之村之也病
人へ振子以之也唯其方以之也居平立
可之也也

一 都 在 類 之 法 之 月 之 享 保 三 丁 午 年 五

Faint, illegible text, possibly bleed-through from the reverse side of the page.





